

2015年5月6日

# 中国都市部にける社区高齢者 サービスのあり方

—西安市での調査を事例に

劉 念 (LIU NIAN)  
神戸大学 大学院

# 『中国農村地域における高齢者福祉サービス --小規模多機能ケアの構築に向けて』について

「現実の改革開放・市場経済発展に伴う①農村・農村社会の変貌、②経済格差の拡大を抜きして、一般高齢者の扶養の「あるべき姿」を論じてても、意味がない」

**BUT**郭さん:

①人民公社時からの農村、歴史的に  
→農村社会の変貌が究明

さらに、都市との比較

②地域社会における中間層へのサービス提案  
ー「村託老所」  
→経済格差を視点に

質問点:

相当量の先行研究の整理・検討 GOOD

But①第三章の事例研究 --- 二次資料に依存？

オリジナルの事例を入れたら、面白くなるのではないか

②北京、上海、杭州、寧波のコミュニティサービスを事例

→多様 各市の政策が特色

but コミュニティの特色ではない

∴ 同じ都市内部の中でも、  
なり立ちや特質が異なるコミュニティ

▶西安市での調査を事例に紹介

# 課題と方法

2013年に中国政府は

『養老サービス業の発展を加速することに関する意見』

≡日本の「ゴールドプラン」

→2020年までに

「在宅扶養を基礎に、社区を拠点として、施設が支える」

→都市部高齢者の在宅扶養:

「社区を基盤」

→「市場メカニズムの完備、産業化規模の拡大」

市場原理に基づくサービス調達を重視

# 先行研究:

## ①都市と農村に大別

→不十分:都市内部の地域間・階層間格差、社区の特性

## ②在宅介護・社区サービスの内容、政策

→不十分:高齢者の生活実態・地域構造

## ③沿海部の都市の実態調査

→不十分:内陸部の実態把握 (産業構造、歴史的背景)

# 課題:

内陸部の大都市・陝西省西安市、都市内部の各地域・社区の特性  
高齢者の生活実態とそこでの問題  
高齢者福祉サービス構築の留意点

# 単位保障

計画経済期：単位保障

終身雇用のもとで、

日常生活のすべてを単位によって保障：

→仕事、給与、住宅、食堂、医療施設、託児所、学校、  
さらに食糧と衣料の配給切符

→年金保険料は企業が全額負担

医療も無料

⇨政府が担うべき社会就業、社会保険、社会福祉などの社会的機能を肩代わり

But

- 無職、非正規雇用の人が排除
- 単位の経済力による格差  
大規模な国有企業と小さな集体企業と

# 単位保障制度の問題

改革開放以前

- 人口圧力→知識青年を農村に下放
  - 「戸籍制度」で農民工の自由移動を制限
- 「大躍進」10年間
- 文化大革命10年間
  - 国有企業に問題が発生

& 定年退職者の増加が国有企業の財政負担に  
厚い福祉厚生が国有企業の非効率に

# 単位保障の崩壊

改革開放後・市場経済期:

∴ 単位制度の改革:「社企分離」

①年金(養老)保険の再建

企業から社会へ、

賦課方式から積み立て方式へ

②医療保険制度←単位全額負担

個人負担を導入

③労働契約制←終身雇用制

国有企業の倒産、人員削減(リストラ、下崗)による失業者が多数

→新しい生活保障の受け皿が必要

# 単位保障から社区保障へ

- 1993年 「社区服務業の促進に関する意見」
- 2000年2月 「社会福祉の社会化の実現を加速することに関する意見」
- 2000年8月 「高齢化社会への対応を強化することに関する決定」
- 2001年 「社区高齢者福祉サービス『星光計画』」
- 2006年5月 「社区サービス活動の強化と改善に関する意見」
- 2006年8月 「中国の高齢者事業の発展のための第11次5カ年計画」
- 2011年 「民政事業発展第12次5カ年計画」

「意見」: 高齢化対策として

〈在宅養老—社区服務—施設養老〉システム

出所: 郭さんの本p116

# 社区の役割

社会治安、市民調停、社会福祉、青少年教育、計画出産、女性代表、公衆衛生、高齢者活動

郭さんの本p109を参考

高齢者福祉サービス:

老年活動中心、福利院、高齢者マンション、託老所、家事サービス、応急サービス、医療保険サービス、レクリエーションなど

郭さんの本p115を参考

**But** 政策的サービスがあるとしても、本当に機能しているかどうか、当事者の高齢者にきかないとわからない。

→西安での調査結果を紹介

## 地域類型：長田洋司・呉縛龍を参考に

### ①単位地域

改革開放以前 国有大企業の「単位」が統括

### ②街道地域

改革開放以前 小規模国有、集体企業が混在  
街道弁事処、居民委員会が管理

### ③新建住宅地域

改革開放以降 都市再開発・不動産の私的購入に伴い、創出

### ④流動人口集住地域

改革開放以降、農民工(出稼ぎ労働者)が流入、集住

# 調査：

面接聞き取り

2011年・2013年      西安市      44名(60歳以上)

①単位地域      =A社区 (11名)

②街道地域      =B社区 (11名)

③新建住宅地域 =C社区 (10名)

④流動人口集住地域  
=D地域(社区なし) (12名)

# 全体的特徴

内陸部・西安市:

高齢者の中で他地域出身者が多い

改革開放以前に流入・定住

- ◁ 東部・沿海部都市: 高齢者の移動が少ない、  
& 改革開放以降、人口流入が顕在化

統計的把握は困難

but 対象者の3/4は陝西省以外の出身

## ①日中戦争： 日本軍の進攻に及ばず、東部から避難民流入

\* 「10歳の頃、抗日戦争で蒋介石による『堤防決壊作戦』が引き起こした大洪水で、母が亡くなった。孤児になった私は誘拐され、西安市に売り飛ばされた。」

## ②戦後東西冷戦： 中国政府は軍需産業・重工業を内陸部に移転 →技術者・労働者が中国全土から政策的に配置転換

\* 「黒龍江省のハルビン航空工業会社に配属されていたが、文化大革命時、毛沢東の『三線支援(過疎地支援)』で雲南省に派遣され、その後、西安市に配属された。」

⇒ これらの人々は現在西安市高齢者の多数

## ③改革開放以降、周辺農村から流動人口集住地域に流入

他地域からの流入人口の多さ

⇒伝統的な地縁・血縁による在宅介護機能が弱い

—特に兄弟姉妹・傍系親族—

◁ 悩みの相談相手・扶助関係:

→配偶者・子供に限定

→傍系親族・地縁関係が希薄

◁ 子供:高齢者の生活・扶養に大きな役割

but 地域毎・経済階層毎に多様

# 地域別特徴

## ①単位地域＝A社区

高齢者：高学歴、国有大企業の管理職・専門職

年金月3000元以上(西安市平均の約2倍)

子供：大卒、専門職・管理職

東部・沿海部・海外に流出

子供との関係：

子供を心配なし、子供を頼らず

「鐘点工(家政婦)」雇用も

# A社区の景観:



- 離退休弁→高齢者の生活保障の専門組織
- 運動場、活動室、図書館、老人活動センター
- 老人大学、団体活動が活発







\*「ゲートボールサークルの団長だ。去年、審査員の国家資格も取った。最近コンピュータークラスもできて、参加している。」

住民間:交流頻繁、(元同僚、顔なじみ)

公費医療:8%の個人負担

←:「国家経済の基幹重点分野」

⇒A社区の高齢者は

悩みなし、生活満足度が高い

社区に要望なし

行政福祉に要望あり

but「自分たちは問題ないが、貧しい人のために福祉は必要」

## ②街道地域＝B社区

高齢者：不就学・夜間学校、 集体企業・非正規雇用・無職  
勤務先は改革開放後倒産

& 民営化・企業売却の際、幹部の汚職

\*「昔、自転車製造工場で働いていたが、倒産して工場が売られた。売却資金はすべて幹部が横領し、私達一般労働者は7年間も無収入だった。」

\*「生活保護受給で最低限の生活だった。今年、ようやく年金を受給できたが、金額は680元しかないので苦しい。」

子供：地元に住居、頻繁に交流

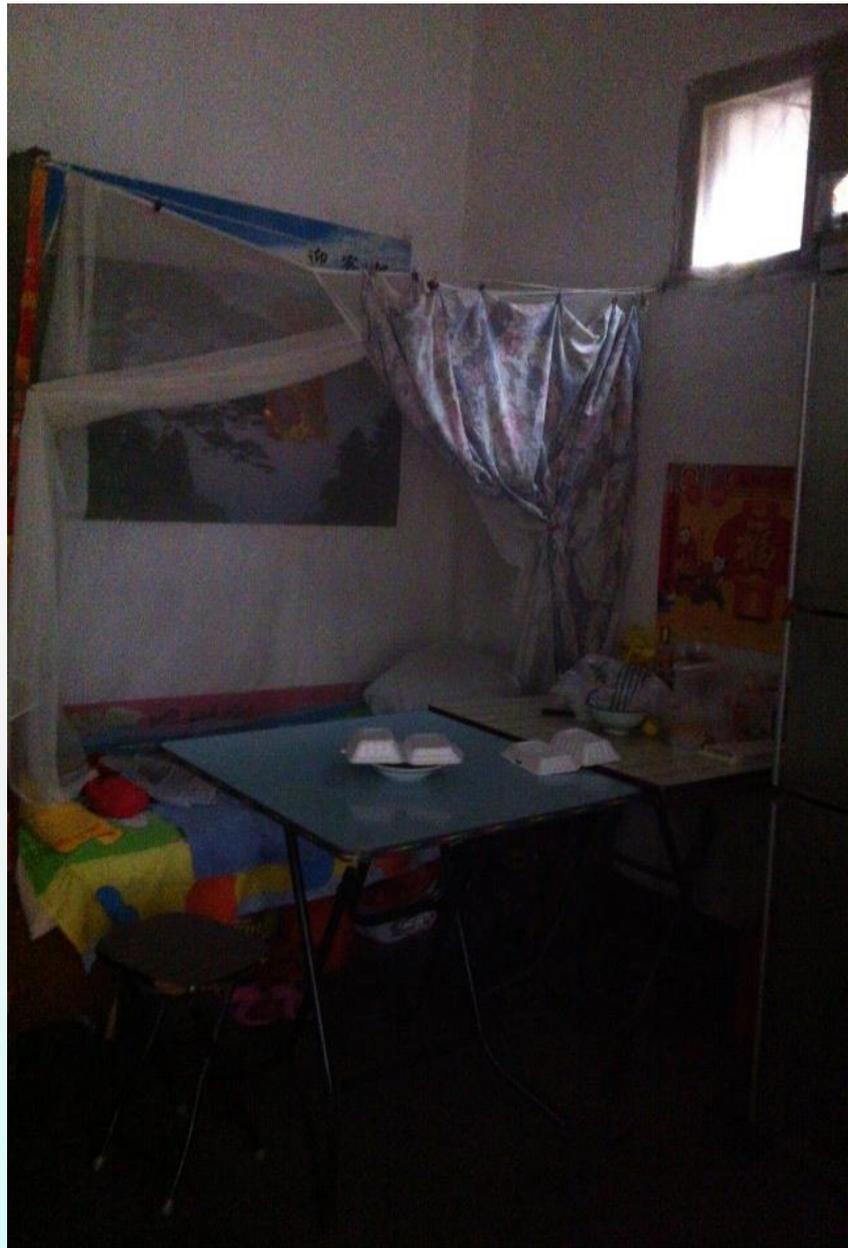
低学歴、非正規雇用・失業

子供との関係：経済状況を心配、

「子供に負担をかけたくない/子供を頼れない」

## 住宅環境：老朽化、劣惡





B社区:活動室・団体活動なし

住民間:交流希薄

\*「友達なんかいない。近隣とも挨拶だけ」

医療費:重い負担

\*「病気はたくさん持っているが、病院にはあまり行かない」

⇒B社区の高齢者は

悩みが多い:貧困、病気、子供の経済負担など

行政福祉・改善要望が多い

←「子供に頼るしかないが、子供にも頼れない」

but「要望しても無駄」と諦観

### ③新建住宅地域=C社区

a)新築高級マンション



b) 立ち退き補償者用準高級マンション、



## c) 旧来の小規模単位住宅



## C社区に a)、b)、c)と三種類の住宅地区 多様な経済階層が住み分け

### 富裕層:

\*「私は自動車関係研究所の幹部だった。年金は月5000元以上だ。子供達も専門職で高所得。私は単位地域にも良い住宅を持っているが、息子が年中、熱湯の使える家で暮らさせたいと言い、現在のマンションを買ってくれた。」

### 中間層:

\*「息子がローンでマンションを買って同居している。息子は非正規雇用で給料が安く、ローンの支払いだけ精一杯だ。私が貯金から頭金を出し、年金を生活費に当てている。」

### 貧困層:

\*「子供を頼りにしていたら、餓死するしかない。逆に子供から生活費をねだられるが、私も金がない。それで子供はふてくされて家出した。孫の結婚費用も借金でまかかった。」

高級マンション・準高級マンション：

ゲートィット・コミュニティ化 → 自由な往来禁止

警備・環境管理：専門会社に委託

各種イベント：マンション内部で閉鎖的開催



But C社区としてのまとめ:

管理会社幹部: 社区幹部が横滑り、共同清掃を実施

\*「以前に比べ、きれいになった」

社区内部で、貧困住民のための募金・慰問活動



貧困層：

＊「端午節に粽、冬至に餃子を社区で集まって食べた。街のレストランでご馳走になったこともある。年末に慰問金を500元もらった。」

⇒C社区の高齡者：

多様な經濟階層の住民が住み分け  
生活上の問題・生活満足度も多様

But 社区の活動に満足

←貧困層も含め、新建住宅地域化によって一定の恩恵

#### ④流動人口集住地域＝D地域

高齢者：農村に1人で居住困難 ←配偶者と離・死別

∴ 子供と共に西安へ

不就学、元農民→今は雑業(露店・ゴミ拾い)



子供：低学歴、低所得。非正規雇用、小規模自営

\*「息子は商売に失敗し、多額の借金を抱え、今は甘肅省に稼ぎに行っている。私は孫の面倒を見ながら、地凶や雨具を露店で売って生活している。」

\*「息子は建築現場で働いているが、自分の生活費も稼げない。私は足に障害があるから、露店でパンケーキを売って生活している。」

\*「綿を打ち直す店をしているが、客が来ない。街の掃除の仕事をしたいと大家に頼んだが、人手が足りていると断られた。失業中の息子を助けたいが、何にもできない。」

\*「息子がガンで死に、10万元の借金があった。私は藁靴を作って露店で売っているが、警察がきたら逃げなければならない。もう年だから、逃げる時にケガをした。」

農村戸籍：年金加入者は半数以下 月額100元未満

医療保険→ 西安市で使えず

\*「大病になったら、子供の迷惑にならないように自殺する。」

# 住宅環境：劣悪な賃貸・集合住宅 4～5人で30㎡



住民間：流動性が高い  
交流が少ない  
相談相手がない

→孤立状態

社区：ない

⇒D地域の高齢者：

生活満足度は最低

年金・医療等、深刻な問題

But 「政府には何にも期待せず」

絶望感、劣等感、権利意識の欠如の袋小路

←「どうしようもない」、「そもそも自分は身分が低い、自分でも恥じている。政府に要求などできない」、「無能な自分が悪い」

# 考察

高齢者の生活・意識の実態：

経済階層・居住地域の特性によって大きな違い  
その格差＝改革開放・市場経済化だけではなく、

& 改革開放以前の国家政策：

都市と農村、国有大企業と集体企業の格差等

A社区・C社区に住む富裕層

←国家政策の恩恵

B社区・C社区の中間層・貧困層

←年金・医療等、多くの問題に直面

D地域の高齢者

←公的政策の対象外、深刻な問題

## 「養老サービス業の発展を加速することに関する意見」

- ・市場原理に基づくサービスの調達を重視  
→格差を拡大
- ・「社区を拠点・基盤」→  
「各社区の特性・課題を踏まえた対応」として評価  
but 社区が存在しない(D地域)  
& 各社区間・各社区内部に経済階層・国家特権の格差

⇒社区任せにせず、  
国家による富の再分配・ 公的財政措置が必要

ご清聴

ありがとうございました

